

関空旅博2018 ブース出展及びセミナーを開催しました(報告)

- ・日時:5月19日(土)、20日(日)
- ・場所:関西国際空港 北広場 N117
- ・ブース名:国連世界観光機関(UNWTO)
- ・全体の来場者(速報値):約43,000人



関空 旅博

当ブースでは、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」及びUNWTOの活動を駐日事務所を通じてご支援いただいているアジア太平洋観光交流センター(APTEC)賛助会員様のPRをさせていただきました。また、開催された2日間において約600名の方々にブースにお越しいただき、その内250名様にUNWTOやSDGsについて知っているかについてアンケートにお答えいただいたところ、初めて知ったという方が多くいらっしゃいました。UNWTOについてもっと知りたいという方や、SDGsに貢献していきたいという方からもご相談も受け、UNWTOが発行する「責任ある旅行者になるためのヒント」を紹介しながら、旅行者一人ひとりが、個人レベルでSDGsに貢献できることについて気づいていただくことができました。

このブース出展は、当財団が平和産業である国際観光を振興する上で、UNWTOについてアピールできる良い機会となり、盛況のうちに終えることができました。

19日はブース出展の他に日本旅行業協会(JATA)関西支部と連携し、香港のデスティネーションセミナーを開催しました。香港政府観光局のマーケティング マネージャー 吉田美貴様より、「フォトジェニックな香港」をテーマに香港の魅力をお話いただき、旅行に興味のある約60名の方が、香港のアート、自然、食、夜景等の魅力について熱心に耳を傾けておられました。



ブースの様子



香港デスティネーションセミナーの様子